



2021年8月6日

各 位

会社名 日本山村硝子株式会社  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 山村 幸治  
 (コード番号 5210 東証第一部)  
 問合せ先 経理部長 佐貫 正義  
 (TEL 06-4300-6000)

## 2022年3月期第2四半期連結累計期間および通期業績予想 ならびに配当予想の修正(中間配当無配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月13日に公表しました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の第2四半期連結累計期間の業績予想および通期業績予想ならびに中間配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年3月期の業績予想について

##### (1) 2022年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 31,000	百万円 300	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	31,000	800	△1,200	△1,600	△156.66
増減額(B-A)	—	500	—	—	—
増減率(%)	—	166.7	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期第2四半期)	28,423	△1,559	△2,985	△2,478	△242.63

##### (2) 2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 62,000	百万円 300	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	60,000	300	△3,000	△3,300	△323.11
増減額(B-A)	△2,000	—	—	—	—
増減率(%)	△3.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	57,136	△2,751	△5,478	△5,313	△520.24

#### (3) 修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、海外ガラスびん子会社において海上運賃高騰に伴い輸出版売量が想定を下回る見込みであるものの、国内のガラスびん関連事業およびプラスチック容器関連事業において販売量および生産量が回復傾向であり、物流関連事業においても効率化が進んでいることから、営業利益は前回予想を上回る見込みです。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純

利益については、海外関連会社における新型コロナウイルス感染症の影響等が不透明であり合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等による生産立ち上げの遅れやロックダウンによる販売量減少の影響により損失となる見込みです。

通期連結業績予想につきましては、下期も引き続き海外ガラスびん子会社における輸出販売量の減少が見込まれるため、営業利益は前回予想を修正しておりません。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については未定としておりましたが、上記の海外ガラスびん子会社の要因に加えて海外関連会社の業績が上期に続いて低調に推移する見通しであることから損失となる見込みです。

## 2. 配当予想について

### (1) 配当予想の内容

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	未定	—	未定	未定
今回修正予想	—	0.00	—	未定	未定
当期実績	—		—		
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	—	20.00	—	20.00	40.00

### (2) 中間配当予想修正の理由

当社は、公表している配当方針に基づき、積極的に株主の皆様への利益還元に努めていきたいと考えております。しかしながら、上記の業績予想等を総合的に勘案した結果、中間配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただく予定です。なお、期末配当につきましては、引き続き未定としております。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上